

入 札 説 明 書

学校法人日本赤十字学園 日本赤十字九州国際看護大学における実習棟及び講義・研究棟遠隔授業設備調達に係る入札公告に基づく一般競争入札については、学校法人日本赤十字学園の諸規程及び関係法令に定めるもののほか、本入札説明書によるものとする。

1. 公告日 令和4年11月7日
2. 契約者 所在地：〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地
施設名：日本赤十字九州国際看護大学
契約行為者：学長 小松 浩子
3. 競争入札に付する事項
 - (1) 件 名 日本赤十字九州国際看護大学実習棟及び講義・研究棟
遠隔授業設備調達
 - (2) 調達内容及び数量 仕様書のとおり
 - (3) 設置場所 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地
 - (4) 納 期 令和5年3月31日まで
4. 競争入札参加資格
 - (1) 競争入札に参加することができない者
 - ア 当該契約を締結する能力を有しない者
 - イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者
 - エ 次の各号の一に該当する事実があった後2年を経過しない者
 - (ア) 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
 - (イ) 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者
 - (ウ) 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
 - (エ) 監督又は検査の実施に当たり、職員の職務の執行を妨げた者
 - (オ) 正当な理由がなくて、契約を履行しなかった者
 - (カ) 契約に参加する者に必要な資格の審査に当たり、虚偽の申請をした者
 - (キ) 前各号の規定により一般競争に参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり、代理人、支配人その他の使用人として使用した者
 - (2) 日本赤十字社、学校法人日本赤十字学園又は日本赤十字九州国際看護大学において、「物品の販売」の「216 電気・通信用機器」において「C」等級以上、「建設工事（専門）」の「522 電気通信」において「C」等級以上の競争入札参加資格認定を受けている単体の企業であること。
 - (3) 福岡県内に本社又は支店（営業所等）を有する者であること。
 - (4) 本件一般競争入札参加資格審査申請書の提出期限の日から開札の時までの期間に、「日本赤十字社指名停止等の措置基準」に基づき、日本赤十字社から、又は

福岡県内で行われた不正行為等に基づき、福岡県若しくは国からの指名停止等の措置を受けていないこと。なお、福岡県及び国において同一の不正行為等によって指名停止期間が異なる場合は、そのうち早期に指名停止が終了する期間を対象とした上で、上記申請書の提出期限の日から開札の時までの期間に指名停止の措置を受けていないこと。

- (5) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者でないこと。
- (6) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配している事業者又はこれに準ずるものとして、公共工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

5. 担当部局

所在地：〒811-4157 福岡県宗像市アスティ 1 丁目 1 番地

施設名：日本赤十字九州国際看護大学

担当者：事務局 財務課 柿添・山本

電 話：0940-35-7006（直通）

F A X：0940-35-7021

6. 入札参加表明書の提出及び競争入札参加資格の確認等

- (1) 本件競争入札の参加希望者は、次に従い、入札参加表明書（様式①）を提出するとともに、上記 4（2）に掲げる競争入札参加資格を有することを証明するため、競争入札参加資格の認定通知の写しを提出しなければならない。なお、提出期限までに入札参加表明書及び競争入札参加資格の認定通知の写しを提出しない者は、本件競争入札に参加することができない。

ア 提出期間：令和 4 年 11 月 7 日（月）～ 令和 4 年 11 月 15 日（火）

土日を除く 10 時 00 分～17 時 00 分

イ 提出場所：上記 5 に同じ。

ウ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便に限る。）により提出すること。

- (2) 本件競争入札の参加希望者で、上記 4（2）に掲げる競争入札参加資格の認定を受けていない者は、次に従い、一般競争入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という）を提出し、競争入札参加資格の審査を受けることができる。申請書については日本赤十字九州国際看護大学ホームページ掲載の「競争入札」を参照のこと。

ア 提出期間：令和 4 年 11 月 7 日（月）～ 令和 4 年 11 月 14 日（月）

土日を除く 10 時 00 分～17 時 00 分

イ 提出場所：上記 5 に同じ。

ウ 提出方法：申請書の提出は、提出場所へ持参又は郵送（書留郵便に限る。）により提出すること。

エ 提出部数：1 部

オ 競争入札参加資格の確認

申請書の提出期限の日をもって行うものとし、その結果は令和 4 年 11 月 15 日（火）までに通知する。

7. 競争参加資格がないと認めた者に対する理由の説明

- (1) 本件競争参加資格がないと認められた者は、契約者に対して競争参加資格がないと認めた理由について、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることが

できる。

ア 提出期限：令和4年11月18日（金） 17時00分まで

イ 提出場所：上記5に同じ。

ウ 提出方法：書面は持参することにより提出するものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。

（2）契約行為者は、説明を求められたときは、令和4年11月25日（金）までに説明を求めた者に対し書面により回答する。

8. 現場説明会

本件競争入札参加希望者で競争入札参加資格があると確認された者は、現場説明会に参加すること。

日時：令和4年11月17日（木）14時00分から

場所：日本赤十字九州国際看護大学

9. 技術審査表の提出

本件競争入札の参加希望者は、次に従い、技術審査表を提出しなければならない。また、落札者決定までの間において本学の職員から当該書類に関して説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

ア 提出期限：令和4年11月28日（月）12時00分まで

イ 提出場所：上記5に同じ。

ウ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便に限る。）による書面での提出に併せて、電子データでも提出すること。

（電子データ提出先：keiri@jrckicn.ac.jp）

10. 入札説明書等に対する質問及び回答

（1）入札説明書、仕様書に対する質問がある場合は、次に従い、質問書（様式②）により書面及び電子データ（エクセル形式）で提出すること。

なお、質問がない場合でも「質問なし」と記載して提出すること。

ア 受付期間：令和4年11月18日（金）～令和4年11月21日（月）

土日を除く 10時00分～17時00分

イ 提出場所：上記5に同じ。

ウ 提出方法

（ア）メールにより電子データを送付後、書面（原本）を持参又は郵送（書留郵便に限る。）すること。

（イ）電子データはエクセル形式に質問事項（質問番号・質問箇所・質問事項を列にとり、改行は不要、様式は問わない）を記載すること。

なお、書面又は電子データのみの提出は認められない。

（電子データ提出先：keiri@jrckicn.ac.jp）

（2）質問に対しては、下記により回答する。

ア 回答期日：令和4年11月22日（火）17時迄に回答する。

イ 回答方法：入札参加者全員に、電子メール（PDF形式）にて回答する。

11. 入札及び開札の日時並びに場所等

（1）受付：令和4年12月2日（金） 9時40分～10時00分

（2）入札： ” 10時00分～

（3）場所：日本赤十字九州国際看護大学 ゲート棟3階 会議室302

- (4) 宛 名：日本赤十字九州国際看護大学 学長 小松 浩子
- (5) 誓約書：入札に際して、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号）に抵触する行為等（談合等）の違法行為の無い旨の誓約書（様式③）及び暴力団排除に関する誓約事項（別紙④）を入札受付時に提出すること。
- (6) 入札参加者は、入札書を提出する直前までに入札参加辞退届（様式⑤）を提出することにより自由に入札を辞退できる。当日の入札参加を辞退する場合、直接入札会場に持参すること。入札日の前日までに本学に到達するものに限り、簡易書留による郵送での提出を認める。郵送先は上記 5 に同じ。
- (7) 入札場所への入場は 1 社につき 2 名以内とする。

1 2. 入札方法等

- (1) 入札参加者は入札書（様式⑥）をもって入札することとし、入札書は持参すること。郵送又は FAX による入札は認めない。
- (2) 代理人が出席して入札する場合は、代表者からの委任状（様式⑦）を入札時に提出すること。
- (3) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。
- (4) 第 1 回目の入札が不調となった場合、ただちに再度入札に移行する。
- (5) 入札執行回数は 3 回を限度とする。
- (6) 第 1 回目の入札に際し、第 1 回目の入札書に記載される入札金額に対応した見積書（様式⑧）を提出すること。なお、内訳明細書の様式については、指定しない。内訳明細書には、機器、諸経費、工事費用の金額等全て記載すること。（入札日に封筒に入れて受付に提出のこと）

1 3. 開札

入札者又はその代理人は開札に立ち会わなければならない。

1 4. 入札保証金及び契約履行保証

- ア 入札保証金 免除とする。
- イ 契約履行保証 免除とする。

1 5. 入札の無効

本件入札の公告の日から、落札者の決定の時までの間に、照会窓口以外の本学教職員に対し、本件に関する接触を求めた者の入札、入札公告及び本入札説明書に示した一般競争入札に参加することができない者の入札又は競争入札参加資格のない者の入札、申請書等本学に提出した書類に虚偽の記載をした者の入札及び入札心得において示した条件等入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。なお、契約者により競争入札参加資格がある旨確認された者であっても、開札の時ににおいて上記 4 に掲げる資格のない者は、競争入札参加資格のない者に該当する。

1 6. 入札の延期等

次のいずれかに該当する場合、入札の延期・中止・取消しをすることがある。

- (1) 天災、地変等により入札の執行が困難なとき。
- (2) 入札が適正に行われないおそれ又は行われなかったおそれがあると認めるとき。
- (3) その他やむを得ない事情が生じたとき。

17. 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札額によっては、その者により、当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又は、その者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく、不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、有効な入札を行った他の者のうち、最低の提示をもって入札した者を落札者とする。ことがある。

18. 手続きにおける交渉の有無

無。

19. 契約書作成の要否等

別添「契約書(案)」(様式⑨)により、契約書を作成するものとする。

20. 関連情報を入手するための照会窓口

上記5に同じ。

21. その他

- (1) 入札参加者は、入札公告、本入札説明書、仕様書及び入札心得を熟読し、公正かつ適正に入札すること。
- (2) 本件競争入札参加資格があると確認された者に、経営、資産、信用の状況の変動により契約の履行がなされないおそれがあると認められる事態が発生したときは、当該資格の確認を取り消すことがある。
- (3) 申請書等本学に提出した書類に虚偽の記載をした場合においては、「日本赤十字社指名停止等の措置基準」に基づく指名停止を行なうことがある。
- (4) 本入札説明書、入札心得等を入手した者は、これを本入札手続以外の目的で使用してはならない。
- (5) 入札心得の第3条、第12条については、適用しない。
- (6) 使用言語及び使用通貨は、日本語及び日本国通貨(円)とする。

以上